

「たんす みどりのある風景」写真展で地域の魅力を再発見！

こんな時こそ、地域のみどりを楽しみませんか

— 笹笥地区協議会 緑化推進分科会 —

例年であれば、地域センターでのイベントや、幼稚園・子ども園での緑化啓発授業、新宿区外の緑化関連施設の視察など、通年で様々な活動をおこなってきましたが、コロナ禍により多くの事業が中止。そのような状況でも、自分たちの住む地域の花やみどりをカメラに収め、地域の魅力にあらためて気づいてもらえるよう写真展という形で緑化推進の啓発を継続してきました。

【事業概要】

団体名：笹笥地区協議会 緑化推進分科会

内容：分科会委員がまち歩きして撮影した写真を、9月に牛込笹笥地域センター1Fのギャラリーに展示。さらに秋の写真を加え、新宿エコギャラリーの「新宿の花・みどりいっぱい写真展」に応募し、年末から1か月ほどの期間で展示。（平成27年度から6回応募して、毎回「新宿エコワン・グランプリ」特別賞を受賞。）



新宿の花・みどりいっぱい写真展
会場 エコギャラリー新宿



笹笥地区協議会
緑化推進分科会様へ

“コンクリートの大都会”のイメージがある新宿ですが、古くからのまち並みもあり、路地や小道といった住空間としてのたたずまいも併せ持っています。「新宿の花・みどりいっぱい写真展」は、そんなまちにある“花やみどり”の情景を紹介してもらい、素敵なまちへの愛着を持ってもらうことを目的として始めました。ところが、緑化推進分科会様の応募作品を拝見して驚きました。この写真展の目標としていることを、すでに実施されていたからです。それ以来、毎回応募いただき、ありがとうございました。皆様の活動に深く敬意を表します。
エコギャラリー新宿 館長 高間佳子

【コロナ禍での、ここがポイント！】

- ① 委員揃ってのまち歩きの写真撮影は、桜が咲いている季節の1回だけにして、他の時期は個人で撮影し、三密のリスクを回避。
- ② 「新宿の花・みどりいっぱい写真展」視察の際に、区みどり公園課の協力をもらい、シュクノバなどの新宿中央公園での新たな取り組みについての勉強会を開催。遠出ができない社会状況の中、身近なところでも、区民を癒してくれるみどりや公園があることを再発見。

笹笥地区に
緑を増やしましょう！
笹笥地区協議会